

国語科

国語科について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 学習課題や目標の明示，適切なまとめや振り返り活動の設定など，生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。
- 2 習得した知識・技能を活用しながら，生徒が問題発見・解決的な学習，話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み，多面的・多角的に考察しながら，思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。
- 3 生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう，能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ，さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。
- 4 国語で正確に理解し，適切に表現する資質・能力を身に付けることができるよう，3領域（話すこと・聞くこと，書くこと，読むこと）の指導事項がバランスよく配列され，生徒が言葉による見方・考え方を働かせながら，社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の考えを形成するための言語活動が適切に取り上げられていること。
- 5 自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を育てるため，実際に話したり，聞いたり，書いたり，読んだりする活動が重視されているとともに，生徒が言葉のもつ価値や特質を認識したり，言語感覚を豊かにしたりする中で，我が国の言語文化や国語を尊重してその能力の向上を図ろうとする態度を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。
- 6 生徒が人権の重要性を学び，人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ，基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう，人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。
- 7 系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え，他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく，また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。
- 8 表記，表現，写真，図表等が適切かつ正確であることに加え，ユニバーサルデザインの観点から，文字フォント，色の使用，紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また，再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

国語科

調査研究の結果の概要

※3領域：話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと

■東京書籍「新しい国語1」「新しい国語2」「新しい国語3」

話すこと・聞くことの領域が他社に比べてやや少ないが、各単元に関連した3領域が豊富かつバランスよく配列されており、国語科で育成を目指す資質・能力を身に付けられるよう工夫されている。また、各教材の冒頭に学習領域と指導事項に関連するキーワードが示されるとともに、教材末には、「てびき」として、学習目標・学習過程・振り返り活動が設定されている。特に、学んだことを自分の言葉でまとめ、振り返る活動では、習得した知識・技能等について生徒自身が確認できるよう具体的な手順が提示されているなど、よく工夫されている。

各教材の「学びの扉」では、日常生活で遭遇しやすい言葉に関するつまづきやキャラクターの吹き出しが、生徒が課題を発見するヒントとなるよう工夫されている。さらに、話すこと・聞くこと、書くことの教材では、それぞれの活動過程の具体例や生徒作品の完成例、対話例が示されるなど、言語活動が充実するようよく工夫されている。

全体を通して、話すこと・聞くこと、書くことの教材では、相手の立場を踏まえて議論したり、根拠をもって伝えあい、高め合う活動が重視されている。また、各教材の「てびき」では、複数の情報を結び付けたり、根拠を示して自分の考えを述べたり、文章を吟味して評価するなどの課題が豊富に設定されているなど、よく工夫されている。

巻頭扉の「言葉の学習を始めよう」に、国語科の学習の意義が示されているほか、各教材の「学びを支える言葉の力」では、国語の学びを実生活の中で生かす手立てが漫画で示されており、生徒にとって社会生活との関連がわかりやすい。また、話すこと・聞くこと、書くことの教材には、日常生活や社会生活に関わる多様な内容が取り上げられているなど、生徒が国語科で培った言語能力を生活に生かしていこうとする態度を身に付けられるよう工夫されている。

古典について、作品の全容や歴史的背景を紹介する折り込み資料、「古典コラム」等で、古文の様々な表現や関連作品に親しめるよう工夫されている。また、巻末には、歌舞伎・能・狂言・人形浄瑠璃などの古典芸能が紹介されるなど、伝統的な言語文化に親しめるよう工夫されている。さらに、読み継がれる名詩や「扉の七編」として詩・短歌・俳句を掲載することで、生徒が韻文の持つリズムや洗練された言葉の数々に触れ、豊かな言語感覚を身に付けられるよう工夫されている。

■三省堂「現代の国語1」「現代の国語2」「現代の国語3」

各単元に関連した3領域が豊富かつバランスよく配列されており、国語科で育成を目指す資質・能力を、生徒が身に付けられるよう工夫されている。また、各教材の冒頭に学習目標が示されているとともに、教材末に設定されている「学びの道しるべ」には、「学びを振り返る」として、生徒が学んだことを自分の言葉でまとめる手がかりとなるキーワードが示されているものの、どの教材も同じ文言で振り返りを促しており、生徒が自分の言葉でまとめる手立てとしてはやや弱い。

すべての教材において、自分の考えを形成する活動が重視されており、「あなたはどのように考えるか」と問うことで、自分ごととして学習するよう促されている。また、各教材の「学びの道しるべ」には、学習目標に対応する学習過程のほかに、思考の手法についてわかりやすく解説さ

れており、考え方や表現の方法とともに、根拠をもって自分で考える態度や力を身に付けられるようよく工夫されている。また、各学年の第6単元に位置付けられている「情報に関係づける」や、各学年に配置された教材において、日常生活や社会生活の中から、生徒が自ら課題を発見し、互いに意見を出し合いながら、課題解決に取り組めるよう工夫されている。

巻末の「社会生活に生かす」では、メモの活用、話し合いの形式、辞典の活用、手紙やメールの書き方等についてポイントや例が取り上げられているが、各学年とも同じ内容となっており、本文との関連も明確に示されていないなど、社会生活で活用を促す工夫としては弱い。

古典について、作品の全容や名場面、他作品とのつながりを紹介する折り込み資料や作品年表、コラム等で、生徒が古典の世界観を広げられるよう工夫されている。また、巻末に歌舞伎・能・狂言等の伝統芸能を大きな写真やシナリオとともに紹介されるなど、伝統的な言語文化に親しめるよう工夫されている。さらに、J ポップの歌詞や有名な現代歌人等の文章を掲載することで、生徒が共感しながら学習意欲を高め、豊かな言語感覚を身に付けられるよう工夫されている。

■教育出版「伝え合う言葉 中学国語1」「伝え合う言葉 中学国語2」「伝え合う言葉 中学国語3」

各単元に関連した3領域がバランスよく配列されており、国語科で育成を目指す資質・能力を生徒が身に付けられるよう工夫されている。また、各教材の冒頭に学習目標が示されているとともに、教材末に設定されている「みちしるべ」には、学習内容とその教材で行う言語活動、振り返り活動が示されており、生徒が見通しをもって学習できるよう工夫されている。ただし、振り返り活動は、学習目標が達成できたかどうかをチェックボックスにチェックする形で、自分の言葉でまとめるような形式となっておらず、生徒が自分の言葉でまとめる手立てとしてはやや弱い。

話すこと・聞くこと、書くことの教材では、多様な言語活動が提案されており、学習のポイントや手順も示されているものの、特に話すこと・聞くことの活動は、プレゼンテーションやグループディスカッションという話し合い活動のスタイルや方法の提示が明確でないものが多いなど、生徒が実際の場面を想起しながら、意欲的に取り組むための手立てとしてはやや弱い。

3領域の各教材に設定されている「学びナビ」では、理解したり表現したりする活動を支える言葉や学習用語が取り上げられており、また、学習の流れや考えるヒント等が示されているため、生徒にとって、自分の考えを形成する流れを意識しやすく、根拠を明確にして、考えを深め、表現する方法を習得する手立てとなっている。

また、巻末の「言葉の自習室」では、「模擬面接をしてみよう」「話すこと・書くことテーマ例集」など、生活や学習の基盤となる言語能力や情報活用能力を伸長するため、社会生活と関連付けた例が複数示されるなど、工夫されている。

古典について、他社と比べ、抜粋部分の文章量の多さや難易度の高さが感じられるが、誰もが知っている珠玉の古典作品が取り上げられている。また、巻末に、百人一首や歌舞伎・狂言・落語等の古典芸能が紹介されており、伝統的な言語文化に親しめるよう工夫されている。さらに、文学史に名を残す文豪の作品や声に出して読みたくなる文語の定型詩が掲載されるなど、生徒が伝統的な言語文化に親しみながら、豊かな言語感覚を身に付けられるよう工夫されている。

■光村図書「国語1」「国語2」「国語3」

各単元に関連した3領域が豊富かつバランスよく配列されており、国語科で育成を目指す資質・

能力を生徒が身に付けられるよう工夫されている。また、教材の冒頭に学習目標が示されているとともに、教材末の「学習」には、「見通しをもつ」「捉える」「読み深める」「考えをもつ」「振り返る」といった学習過程が視覚的にわかりやすく示されており、生徒にとって何を学ぶのか、どのように学ぶのが明確となっている。また、「振り返る」では、学んだことを自分の言葉でまとめるため、教材ごとに自己変容を意識できるような課題や問いが設定されているなど、優れている。

話すこと・聞くこと、書くことの教材では、各領域の力を融合させる「生かす」や、有機的に関連させて活用する「つなぐ」が設定されており、領域の一体的な学びが深められるよう工夫されている。また、読むこと教材の「学習」では、身に付けた力の言語化や、他の場面で活用する課題が設定されるなど、生徒が習得した力を意識的に活用するための手立てが優れている。

根拠を明確にして自分の考えを書く教材が3年間にわたり系統立てて設けられている。特に、「情報整理・思考のレッスン」では、情報整理や思考の方法が図解でわかりやすく掲載されており、生徒が自分の考えを整理し、深めるための方法を習得しやすい。また、ここで学習したことが練習問題によって確認できるよう工夫されているなど、優れている。

案内文、手紙・メールの書き方、提案・スピーチ、討論の仕方等、社会生活と関連付けた学習活動が適切に取り上げられており、生活や学習の基盤となる言語能力、情報活用能力を身に付けられるよう工夫されている。また、話すこと・聞くこと、書くことの教材には、「つなぐ」として、日常生活や将来への生かし方が明示されており、特に、書くことの指導事項を取り扱う言語活動が多様で、知識・技能を活用する場面も社会生活を想定した場面設定が効果的に盛り込まれるなど、よく工夫されている。

古典について、作品に添えられている現代語の解説は、古人の思いを今を生きる私たちにつなぐ内容で、生徒が古典学習の意義を感じられるよう工夫されている。また、巻末に百人一首や、能・狂言・歌舞伎・落語等の古典芸能が紹介され、伝統的な言語文化に親しめるよう工夫されている。さらに、「季節のしおり」等に提示される詩歌や季節の言葉により、生徒が韻文の持つリズムや洗練された言葉の数々に触れ、豊かな言語感覚を身に付けられるよう工夫されている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

選定の観点		選定の視点	東京書籍	三省堂	教育出版	光村図書
1	学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること	1 基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた工夫	◎	○	○	○
		2 指導事項(学習のめあてや振り返り活動等)の明示	◎	△	△	◎
		3 新出漢字・語彙の習得に向けた工夫	○	○	○	○
2	習得した知識・技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること	1 習得した知識・技能の活用を促す工夫	○	○	○	◎
		2 問題解決的な学習や言語活動の充実の工夫	◎	○	○	◎
		3 思考力・判断力・表現力の育成に向けた工夫	○	○	○	○
3	生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること	1 主体的・対話的な学習に向けた工夫	◎	○	○	○
		2 探究意欲を高める工夫	○	○	○	◎
		3 発展的な学習活動につながる工夫	○	○	○	○
4	国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を身に付けることができるよう、3領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の指導事項がバランスよく配列され、生徒が言葉による見方・考え方を働かせながら、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを形成するための言語活動が適切に取り上げられていること	1 3領域のバランスのとれた配置の工夫	○	○	○	○
		2 根拠を明確にしながら自分の考えを形成するための学習過程の工夫	◎	◎	○	◎
		3 社会生活と関連付けた学習活動の工夫	○	△	○	◎
5	自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を育てるため、実際に話したり、聞いたり、書いたり、読んだりする活動が重視されているとともに、生徒が言葉のもつ価値や特質を認識したり、言語感覚を豊かにしたりする中で、我が国の言語文化や国語を尊重してその能力の向上を図ろうとする態度を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること	1 実際の場面で話す・聞く、書く、読む活動の工夫	○	○	△	○
		2 伝統的な言語文化を含め、豊かな言語感覚の育成に向けた工夫	○	○	○	○
		3 読書活動へ繋がる工夫	○	○	○	○
6	生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること	1 人権教育の推進	○	○	○	○
		2 道徳教育の推進	○	○	○	○
7	系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること	1 単元構成の系統性・発展性	○	○	○	○
		2 他教科や教育課題等との関連	○	○	○	○
		3 他校種との接続	○	○	○	○
		4 家庭・地域との連携	○	○	○	○
8	表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること	1 文字や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさ	○	○	○	○
		2 ユニバーサルデザインの視点	○	○	○	○
		3 装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○	○	○
		4 用紙、インク等の環境面への配慮	○	○	○	○

【国語科】観点別資料

【選定の観点1】

学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
○本編・基礎編・資料編の3部構成になっており、基礎編では、3領域に共通して必要となる言葉の力が、「論理的な言葉の力」「対話的な言葉の力」「文学的な言葉の力」として、整理して取り上げられており、生徒がどのような力を身に付けることが必要なのかを捉えやすく、基礎的・基本的な知識・技能の習得に向け、よく工夫されている。 ○各教材の冒頭に、学習領域と指導事項に関連するキーワードが示されているとともに、教材末には、「てびき」として、学習目標・学習過程・振り返り活動が設定されている。特に、学んだことを自分の言葉でまとめ、振り返る活動では、習得した知識・技能等について、生徒自身が確認できるよう具体的な手順が提示されているなど、よく工夫されている。 ○巻末の学年別の新出漢字表では、部首や筆順、複数の熟語例が掲載されており、新出漢字を効率的に学習できるよう工夫されている。また、巻末の資料編「言葉を広げよう」では、表現の幅を広げられるよう言葉の一覧が掲載されているなど、生徒が新出漢字や語彙を習得できるよう工夫されている。	○各教材に、情報を的確に捉え考えを深めることが促されている「思考の方法」とともに、教材の言葉をきっかけに語彙を広げる「語彙を豊かに」が設定されており、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。 ○各教材の冒頭に、学習目標が示されているとともに、教材末に設定されている「学びの道しるべ」には、「学びを振り返る」として、生徒が学んだことを自分の言葉でまとめる手がかりとなるキーワードが示されているなど、工夫されている。しかし、キーワードはあるものの、どの教材も同じ文言で振り返りを促しており、生徒が自分の言葉でまとめる手立てとしてはやや弱い。 ○新出漢字は、本文脚注に読みと文中での使われ方が示されるとともに、教材末には、一覧表が掲載されている。また、巻末には、部首、筆順、複数の語例が一覧で掲載されるとともに、巻末資料として、「学習用語辞典」等も用意されるなど、生徒が新出漢字や語彙を繰り返し見返すことができるよう工夫されている。	○読む領域を中心とした各教材の冒頭に設定されている「学びナビ」では、その教材で注目すべき学習ポイントが詳しく取り上げられているなど、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。 ○各教材の冒頭に、学習目標が示されているとともに、教材末に設定されている「みちしるべ」には、学習内容とその教材で行う言語活動、振り返り活動が示されており、生徒が見通しをもって学習できるよう工夫されている。ただし、振り返り活動は、学習目標が達成できたかどうかをチェックボックスにチェックする形で、自分の言葉でまとめるような形式となっておらず、生徒が自分の言葉でまとめる手立てとしてはやや弱い。 ○各教材に新出漢字と語彙がまとめて掲載されているとともに、巻末には、筆順や熟語等を掲載する新出漢字表が各学年で掲載されている。また、語彙の習得においては、各教材の終わりに「言葉と表現」、折込みに「理解・表現に役立つ言葉」が用意されており、生徒が言葉の世界を広げ、新出漢字や語彙を習得できるよう工夫されている。	○各教材に設定されている「学習の窓」では、学習課題や言語活動、振り返り活動等が図解されており、視覚的にわかりやすいとともに、学習用語が丁寧に解説されるなど、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。 ○教材の冒頭に、学習目標が示されているとともに、教材末の「学習」には、「見通しをもつ」「捉える」「読み深める」「考えをもつ」「振り返る」といった学習過程が視覚的にわかりやすく示されており、生徒にとって何を学ぶのか、どのように学ぶのかが明確となっている。また、「振り返る」では、学んだことを自分の言葉でまとめるため、教材ごとに自己変容を意識できるような課題や問いが設定されているなど、優れている。 ○新出漢字は、本文脚注に読みと文中での使われ方が示されるとともに、教材末には、一覧表が掲載されている。また、巻末には、部首、筆順、複数の語例、さらに慣用句や四字熟語等での用いられ方などが掲載されるとともに、日常生活や学習活動に役立つ表現力を高めるための語彙表が、巻末資料「語彙を豊かに」に用意されているなど、生徒が新出漢字や語彙を習得できるよう工夫されている。

【選定の観点２】

習得した知識・技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
○巻頭には、領域ごとの既習事項及びこれから1年間で習得を目指す学習事項が掲載されており、生徒がこれまでに学んだ力を使って新たな言葉の力を身に付けようとする動機付けとなっている。また、各教材の「学びの扉／学びを支える言葉の力」では、系統立てられた言語活動が提案されるなど、生徒が表現の仕方やコミュニケーションの基盤を身に付けられるよう工夫されている。 ○各教材の「学びの扉」では、適宜その教材の学習内容が漫画で掲載されているとともに、日常生活で遭遇しやすい言葉に関するつまずきやキャラクターの吹き出しが、生徒が課題を発見するヒントとなるよう工夫されている。また、話すこと・聞くこと、書くことの教材では、それぞれの活動過程の具体例や生徒作品の完成例、対話例が示されているなど、言語活動が充実するようよく工夫されている。 ○話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの3領域の教材では、各教材で学習のポイントが「言葉の力」として示されており、生徒にわかりやすい。また、各教材で多彩な言語活動が系統立って配置されているなど、生徒が思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。	○各章に設定されている「読み方を学ぼう」では、様々な表現の仕方や文章構成、論理の展開が可視化されており、授業で習得した知識・技能を確認することができるとともに、学習の様々な場面で活用しやすい。また、各学年の冒頭に「グループディスカッション」の単元が設けられており、生徒が以後の学習にも活用しやすいよう教材配列が工夫されている。 ○各学年の第6単元に位置付けられている「情報に関係づける」や、各学年に配置された教材（1年「グループ新聞」、2年「100年後の水を守る」、3年「課題作文」）において、日常生活や社会生活の中から、生徒が自ら課題を発見し、互いに意見を出し合いながら課題解決に取り組めるよう工夫されている。 ○各教材に、学習内容がわかりやすくまとめられているとともに、学習活動の文脈に沿って活用できるよう「順序立てる、関連付ける、具体化する」など、9種の「思考の方法」が、3年間を通してバランスよく設定されているなど、生徒が思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。	○各教材の「学びナビ」では、その教材の学習のポイント、思考に関わる用語や表現等が取り上げられており、生徒が学習内容を把握しやすい。また、生徒が活用すべき言語能力を意識しながら、学習を進めていけるよう工夫されている。 ○話すこと・聞くこと、書くことの教材では、多様な言語活動が提案されている。また、読むことの教材では、「みちしるべ」として、内容の把握、考えの形成など、学習過程に応じた段階的な学習内容が整理して示されるなど、言語活動の充実が図られており、生徒にとって使いやすい。 ○適宜設定されている「学びのチャレンジ」では、文学や説明文に加え、世論調査、生徒会役員規約といった実用的な文種も含め、図表やグラフなどに関連付けながら、読み取り、目的に応じて活用するといった課題が設定されており、生徒が思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。	○話すこと・聞くこと、書くことの教材では、各領域の力を融合させる「生かす」や、有機的に関連させて活用する「つなぐ」が設定されており、各領域の一体的な学びが深められるよう工夫されている。また、読むこと教材の「学習」では、身に付けた力の言語化や、他の場面で活用する課題が設定されるなど、生徒が習得した力を意識的に活用するための手立てが優れている。 ○各教材の冒頭や教材末に設定されている「学習」では、学習目標に加えて、学習過程に沿って「捉える」「読み深める」「考えをもつ」の3段階の課題が用意されているとともに、課題に応じた言語活動例が示されている。また、生徒がつまずきやすい場面を出発点に情報を見える化したり、意見と根拠、原因と結果、情報と情報の関係をわかりやすく示す「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」が適宜設定されるなど、言語活動を促す工夫が優れている。 ○巻頭の「思考の地図」では、様々な場面で活用できる思考法や可視化の方法が一目でわかるよう紹介されている。また、書くことの教材では、思考ツールや図表を用いて情報を視覚化する方法を具体的に示して情報を整理することを促したり、その文種でよく使われる表現や文型を示したりすることで、生徒が思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。

【選定の観点3】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
○全ての章名を動詞で終わらせることにより、その章の学習を通して、どのような力の習得を目指すのか、生徒自身が見通しを持ちやすい。また、巻頭に「学習の進め方・教科書の使い方」が掲載されるとともに、各教材では吹き出しで学習目標が示されており、また、話すこと・聞くこと、書くことの教材では、生徒作品の完成例や途中段階の具体例が豊富に掲載されるなど、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。さらに、話し合いなどの言語活動には、キャラクターによる話し合い例が用意されるなど、対話的な学びを深められるようよく工夫されている。 ○物語仕立ての「日本語探検」、ゲーム感覚で取り組める「文法の窓」、言葉の学びを深める漫画「学びの扉」など、各所に生徒の探究意欲を高められるよう工夫されている。また、話すことの教材では、課題だけでなく場面設定の重要性にも触れることで、場面に応じた話し方や言葉選びについて、生徒自身が考え、探究していく動機付けとなるよう工夫されている。 ○「学びを支える言葉の力」の各項目の最後に、「つながる・広がる」として、他教科の学習へのつながりと日常生活への広がり具体例が掲載されており、国語科の学習で身に付けた資質・能力を発展的に発揮できる場面を、生徒自身が発見し、実感できるよう工夫されている。	○領域別教材一覧に示されている「付けたい力」や、各教材に示されている学習目標、教材末に設けられている振り返り活動で、生徒が見通しをもって学習に取り組むとともに、自分の学習を振り返りながら、診断・評価するといった主体的な学びにつながるよう工夫されている。また、各学年で設定されている教材「情報を関係づける」では、資料となる文章や図表も併せて掲載されており、共通の情報を基にした対話的な活動が促されている。さらに、第1単元に用意されている「グループディスカッション」から話し合いを効果的に行うためのこつが系統的に示されるなど、生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう工夫されている。 ○情報と情報の関係を捉えたり、考えを整理して深めたりする9種の方法が提示された「思考の方法」が3年間を通してバランスよく配置されるとともに、各教材の「語彙を豊かに」では、語句の量を増やし、語感を磨くための多様なテーマで教材に関連した語彙が取り上げられるなど、生徒の探究的な学びにつながるよう工夫されている。 ○各所に設定されている「読み方を学ぼう」では、具体的な思考方法や活動手順が提示されており、生徒の探究的な学びが促されるとともに、他教科や社会生活での応用といった発展的な学習にもつながるよう工夫されている。	○3年間を通して、各単元に課題を考えるための7つのキーワードが設定されており、キーワードに即した多様な話題を通して、生徒が自ら問いを立て、考え、意見を交流することで思考を深められるよう工夫されている。また、各教材の「学びナビ」では、何を学ぶかという方向付けをしたうえで題材に取り組むことができるよう工夫されており、主体的な学びが促されている。さらに、読むことの教材では、「みちしるべ」として、交流活動の例が提示されるなど、生徒が対話的な活動に取り組むやすいよう工夫されている。 ○多様な形態の文章に触れ、総合的に考えをまとめる活動が適宜設定されているとともに、写真や広告等の様々なメディアと表現の関係性について扱う題材が数多く設定されているなど、実生活とのつながりや実際の社会活動と重なる思考体験を動機付けとして、生徒の探究意欲を喚起するよう工夫されている。 ○巻末の「言葉の自習室」には、多様な作品や資料が掲載されており、生徒の興味や関心に沿って、さらに作品を読んだり調べたりすることが促されている。また、「学びのチャレンジ」として、自分の力で様々な文章や資料を読み、表現する教材が設定されるなど、発展的な学習につながるよう工夫されている。	○巻頭の「思考の地図」には、思考ツールなどの例が掲載されており、生徒が課題や学習内容に適した学習方法を主体的に選択し、思考を深められるよう工夫されている。また、各教材の「学習」では、「見通しを持つ」「学習課題」「振り返る」という流れが明示されており、生徒の主体的な学習が促されているとともに、各学年で設定されている「聞き上手になろう」では、対話の場面だけでなく、生徒が対話を広げるための質問力を身に付けられるような手立てが掲載されるなど、工夫されている。 ○全体を通して、日常生活と関連させた多様な文章が題材として掲載されており、情報の質や信頼性を吟味する活動を繰り返す行うことで、生徒の探究意欲を高められるよう工夫されている。また、情報を鵜呑みにせず、クリティカルな思考力・判断力を育成するため、比較対象となる文章がユニット化して掲載されるなど、多彩な工夫が優れている。 ○各教材の「学習の窓」では、生徒が身に付けた言葉の力を、領域や教科を超えて活用する際の学習ポイントが図解されており、発展的な学習につながるよう工夫されている。また、「学習を広げる」には、教材と関連する資料や郷土ゆかりの作家や作品の一部が掲載されており、生徒がさらに作品を読んだり調べたりすることが促されている。

【選定の観点4】

国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を身に付けることができるよう、3領域（話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと）の指導事項がバランスよく配列され、生徒が言葉による見方・考え方を働かせながら、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを形成するための言語活動が適切に取り上げられていること。

発行者名			
2 東書	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
○話すこと・聞くことの領域が、他社に比べてやや少ないが、各単元に関連した3領域が豊富かつバランスよく配列されており、国語科で育成を目指す資質・能力を生徒が身に付けられるよう工夫されている。 ○全体を通して、話すこと・聞くこと、書くことの教材では、相手の立場を踏まえて議論したり、作品について助言し合ったりするなど、根拠をもって伝えあい、高め合う活動が重視されている。また、各教材の「てびき」では、複数の情報を結び付けたり、根拠を示して自分の考えを述べたり、文章を吟味して評価するなどの課題が豊富に設定されているなど、よく工夫されている。 ○巻頭扉の「言葉の学習を始めよう」に、国語科の学習の意義が示されているほか、各教材の「学びを支える言葉の力」に設定されている「つながる・広がる」では、国語科の学びを実生活の中で生かす手立てが漫画で示されており、生徒にとって社会生活との関連がわかりやすい。また、話すこと・聞くこと、書くことの教材には、日常生活や社会生活に関わる多様な内容が取り上げられているなど、生徒が国語科で培った言語能力を生活に生かしていこうとする態度を身に付けられるよう工夫されている。	○各単元に関連した3領域が豊富かつバランスよく配列されており、国語科で育成を目指す資質・能力を生徒が身に付けられるよう工夫されている。 ○すべての教材において、自分の考えを形成する活動が重視されており、「あなたはどのように考えるか」と問うことで、自分ごととして学習するよう促されている。また、各教材の「学びの道しるべ」には、学習目標に対応する学習過程のほか、思考の手法についてわかりやすく解説されており、生徒が考え方や表現の方法とともに、根拠をもって自分で考える態度や力を身に付けられるようよく工夫されている。 ○巻末の「社会生活に生かす」では、メモの活用、話し合いの形式、辞典の活用、手紙やメールの書き方等についてポイントや例が取り上げられているが、各学年とも同じ内容となっており、本文との関連も明確に示されていないなど、生徒が国語科で培った言語能力を社会生活で生かすことを促す工夫としては弱い。	○各単元に関連した3領域がバランスよく配列されており、国語科で育成を目指す資質・能力を生徒が身に付けられるよう工夫されている。 ○3領域の各教材に設定されている「学びナビ」では、理解したり表現したりする活動を支える言葉や学習用語が取り上げられており、また、学習の流れや考えるヒント等も示されているため、生徒にとって、自分の考えを形成する流れを意識しやすく、根拠を明確にして、考えを深め、表現する方法を習得する手立てとなっている。 ○コミュニケーション能力をもとに、日常生活から社会生活へと意識を高めるための手立てとなる教材「言葉と社会」が複数用意されている。また、巻末の「言葉の自習室」では、「模擬面接をしてみよう」「話すこと・書くことテーマ例集」など、生活や学習の基盤となる言語能力や情報活用能力を伸長するため、社会生活と関連付けた例が複数示されるなど工夫されている。	○各単元に関連した3領域が豊富かつバランスよく配列されており、国語科で育成を目指す資質・能力を生徒が身に付けられるよう工夫されている。 ○根拠を明確にして自分の考えを書く教材が3年間にわたり系統立てて設けられている。特に、「情報整理・思考のレッスン」では、情報整理や思考の方法が図解でわかりやすく掲載されており、生徒が自分の考えを整理し、深めるための方法を習得しやすい。また、ここで学習したことが練習問題によって確認できるよう工夫されているなど、優れている。 ○案内文、手紙・メールの書き方、提案・スピーチ、討論の仕方等、社会生活と関連付けた学習活動が適切に取り上げられており、生活や学習の基盤となる言語能力、情報活用能力を身に付けられるよう工夫されている。また、話すこと・聞くこと、書くことの教材には、「つなぐ」として、日常生活や将来への生かし方が明示されており、特に、書くことの指導事項を取り扱う言語活動が多様で、生徒が知識・技能を活用する場面も社会生活を想定した場面設定が効果的に盛り込まれるなど、よく工夫されている。

【選定の観点5】

自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を育てるため、実際に話したり、聞いたり、書いたり、読んだりする活動が重視されているとともに、生徒が言葉のもつ価値や特質を認識したり、言語感覚を豊かにしたりする中で、我が国の言語文化や国語を尊重してその能力の向上を図ろうとする態度を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
○話すこと・聞くことの活動では、順序立ててスキルアップしながら、生徒が合意形成を目指す対話力が身に付けられるよう工夫されている。また、書くことの活動では、意見文や批評文等を論理的に書く活動、韻文や創作文を感性や想像力を大切に書く活動、生活に必要な礼状や依頼状を書く活動がバランスよく配置されているなど、工夫されている。 ○古典について、作品の全容や歴史的背景を紹介する折り込み資料や「古典コラム」等で、生徒が古文の様々な表現や関連作品に親しめるよう工夫されている。また、巻末には、歌舞伎・能・狂言・人形浄瑠璃などの古典芸能が紹介されるなど、伝統的な言語文化に親しめるよう工夫されている。さらに、読み継がれる名詩や「扉の七編」として詩・短歌・俳句を掲載することで、生徒が韻文の持つリズムや洗練された言葉の数々に触れ、豊かな言語感覚を身に付けられるよう工夫されている。 ○読むことの教材末に設定されている「広がる言葉」では、教材で使われた語句と関連する問いが設定されている。また、巻末の資料編には、多様な言葉が一覧で整理されるとともに、各所に語彙学習を進める教材が用意されているなど、生徒が言葉のもつ価値や特質を認識したり、言語感覚を豊かにしたりすることができるよう工夫されている。 ○文学作品や論説文が紹介される「読書への招待」、教材と関連する様々な書籍が紹介される「読書案内」、ビブリオバトルや読書会、本のポップ作りが提案される「読書活動」など、学校図書館の活用とともに、生徒の日常生活での読書活動が提案されている。	○話すこと・聞くことの活動では、「話し合いのこつ」が示されており、生徒が意欲的に話し合い活動に取り組みやすい。また、書くことの活動では、意見文や批評文等を論理的に書く活動、手紙やメール、行事案内リーフレットなど、生活に必要な書く活動がバランスよく取り入れられており、身近なテーマ設定や手順等の明示と併せて、生徒が意欲的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ○古典について、作品の全容や名場面、他作品とのつながりを紹介する折り込み資料や作品年表、コラム等で、生徒が古典の世界観を広げられるよう工夫されている。また、巻末に、歌舞伎・能・狂言等の伝統芸能が大きな写真やシナリオとともに紹介されるなど、伝統的な言語文化に親しめるよう工夫されている。さらに、Jポップの歌詞や有名な現代歌人等の文章を掲載することで、生徒が共感しながら学習意欲を高め、豊かな言語感覚を身に付けられるよう工夫されている。 ○読むことの教材末に設定されている「語彙を豊かに」では、教材で使われた語句と関連する語句が掲載されている。また、巻末の資料編には、多様な言葉が一覧で整理されているとともに、語彙学習を進める教材が適宜設定されているなど、生徒が言葉のもつ価値や特質を認識したり、言語感覚を豊かにしたりすることができるよう工夫されている。 ○適宜設定されている「私の本棚」では、教材に関連する書籍や有名作家の読書体験と合わせて書籍が紹介されている。また、ブックトークやビブリオバトルが提案されるなど、学校図書館の活用とともに、生徒の日常生活での読書活動が提案されている。	○話すこと・聞くことの活動では、学習のポイントや手順は示されているものの、プレゼンテーションやグループディスカッションという話し合い活動のスタイルや方法の提示が明確でないものが多いなど、生徒が実際の場面を想起しながら、意欲的に取り組むための手立てとしてはやや弱い。 ○古典について、他社と比べ、抜粋部分の文章量の多さや難易度の高さが感じられるが、誰もが知っている珠玉の古典作品が取り上げられている。また、巻末に、百人一首や歌舞伎・狂言・落語等の古典芸能が紹介されており、伝統的な言語文化に親しめるよう工夫されている。さらに、文学史に名を残す文豪の作品や声に出して読みたくなる文語の定型詩が掲載されるなど、生徒が伝統的な言語文化に親しみながら、豊かな言語感覚を身に付けられるよう工夫されている。 ○読むことの教材末に、教材で使われた語句と関連する語句が掲載されている。また、巻末の折込み資料には、表現活動に関わる言葉が一覧で整理されているとともに、各教材末の「学びナビ」では、教材で着目すべき語句が取り上げられるなど、生徒が言葉のもつ価値や特質を認識したり、言語感覚を豊かにしたりすることができるよう工夫されている。 ○各章に設定されている「広がる本の世界」では、学習キーワードと関連する書籍が紹介されているとともに、学校図書館の活用や書籍から必要な情報を取り出す方法が紹介されるなど、生徒の日常生活での読書活動につながるよう工夫されている。	○話すこと・聞くことの活動では、生活の中からテーマを設定したプレゼンテーションや討論会が提示され、そのポイントと手順を示すことで、生徒が意欲的に話し合い活動を進められるよう工夫されている。また、書くことの活動では、説明、レポート、案内文などの社会生活に関わる多様な言語活動において必然性をもって書くことに取り組める場面が設定されるなど、工夫されている。 ○古典について、作品に添えられている現代語の解説は、古人の思いを今を生きる私たちにつなぐ内容で、生徒が古典学習の意義を感じられるよう工夫されている。また、巻末に、百人一首や、能・狂言・歌舞伎・落語等の古典芸能が紹介され、伝統的な言語文化に親しめるよう工夫されている。さらに、「季節のしおり」等に提示される詩歌や季節の言葉により、生徒が韻文の持つリズムや洗練された言葉の数々に触れ、豊かな言語感覚を身に付けられるよう工夫されている。 ○読むことの教材末に設定されている「言葉を広げる」では、教材と関連する語句を考察するための問いが設定されている。また、巻末の「語彙を豊かに」には、テーマ別の語彙一覧が設定されているとともに、各所に語彙学習を進める教材が用意されているなど、生徒が言葉のもつ価値や特質を認識したり、言語感覚を豊かにしたりすることができるよう工夫されている。 ○各教材末の「広がる読書」では、教材に関連する書籍が紹介されるとともに、「読書生活を豊かに」そして、ブックトークや読書会等が提案されるなど、学校図書館の活用とともに、生徒の日常生活の中での読書活動が提案されている。

【選定の観点6】

生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。

発行者名			
2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
○価値観が民族によって相対的なものであることに生徒が気付くことができるような説明文が複数取り上げられるなど、相手の立場に立って感じ取ったり、考えたりする機会となるよう工夫されている。 ○1, 2年生では、話すこと・聞くことのこつ・スキルが紹介され、3年生では、合意形成に際してお互いのよさを生かすこと、事柄や考え方を多面的に捉えることの大切さを説いたうえで活動することが提案されるなど、生徒が人権や道徳教育の大切さを実感できるよう工夫されている。 ○「論語」を扱う単元で、人間の生き方について考える契機となる章句が取り上げられるなど、豊かな情操を育む文学作品、共感する心を養うドキュメンタリー作品、公共の精神を育てる協働的な言語活動が設定されており、生徒が基本的人権や道徳性について深く考えられるよう工夫されている。	○生き甲斐や自分の価値、民族差別について考えさせられる文学作品、共生社会について知り考える説明文などが複数取り上げられるなど、生徒がすべての人が暮らしやすい社会について考える機会となるよう工夫されている。 ○1年生では、話すこと・聞くことのこつ・スキルが紹介され、2, 3年生では、互いの考えを尊重することの大切さが取り上げられているとともに、人工知能AIが取り上げられた教材では、生徒が人間としてのコミュニケーションのあり方を考える機会となっている。 ○「論語」など人間としての生き方や在り方について考えられる教材が取り上げられており、生徒が多様な価値観やものの見方・考え方が身に付けられるよう題材の選定、単元の構成が工夫されている。	○子どもの権利、少数民族、障害者スポーツ、肖像権、精神面のバリアフリー、LGBTなどを内容とする説明文や評論等が取り上げられており、生徒が様々な人権問題について知り、考える機会となるよう工夫されている。 ○情報の真偽の判断力にとどまらず、社会正義について考えるメディアリテラシーに関する教材や、人間の人間たる所以に気付かせる人工知能AIに関する教材など、生徒が自分自身を含めて人間らしさについて考える機会となるよう工夫されている。 ○大自然への畏敬の念を抱かせる説明文が取り上げられており、また、「論語」を扱う単元では、人間の生き方について考える契機となる章句が取り上げられるなど、生徒が思いやりや感謝、よりよく生きる喜びなどについて深く考えられるよう工夫されている。	○自分らしさやアイデンティティーについて考察できる文学作品、先入観を取り払うことやものごとを新しい視点で捉え直すことの大切さを再認識できる説明文など、生徒が人権や道徳教育の大切を感得できるよう工夫されている。 ○「思考のレッスン」「情報処理のレッスン」「達人からのひと言」など、生徒が事柄や情報を多面的に捉え考えることの大切さを感じられるよう工夫されている。また、1年「時を表す言葉」、2年「色の名前」、3年「季節の言葉」として、生徒が日本語の豊かさや美しさに触れる場が用意されるなど、感動やよりよく生きる喜びを感じられるよう工夫されている。 ○『論語』を扱う単元で、人間としての生き方やよりよく生きるための知恵について考えを深められるような章句が多く取り上げられており、また、生徒の感性を揺さぶるような名文や情緒あふれる言葉を厳選した「季節のしおり」など、生徒が基本的人権や道徳性について深く考えられるよう工夫されている。

【選定の観点7】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
○巻末に、「言葉の力」として、3年間を通した3領域の学習目標・方法等が、系統的・発展的に一覧の形で配列されている。領域別の学習目標等がひと目でわかるよう構成されており、生徒にとってわかりやすい。 ○他教科と関連した教材がバランスよく配置されている。また、マークで関連する教科が明示されるなど、生徒が教科間のつながりを意識しやすく、相互に学びを深めることができるよう工夫されている。 ○日本の伝統文化に関する教材や学習が重視されている。また、戦争・平和、防災、環境等の題材が積極的に扱われているとともに、メディアリテラシー及び情報活用能力の育成に関する教材が各学年に用意されている。 ○1年生の初めの単元は、小学校での学びを復習できるような教材が配置されている。また、3年生では、社会生活を意識した言語活動や報道や評論など、高校の学習につながる教材が配置されるなど、小中高の接続が配慮されている。 ○「方言と共通語」など、地域への愛着がもてるような教材が取り上げられている。また、裏表紙に保護者へのメッセージが掲載されるとともに、脚注語彙や資料編などは、家庭学習にも活用できるよう工夫されている。	○各学年各単元が螺旋的・反復的に積み上げていけるよう系統的・発展的に配置されている。巻末の折込資料「読み方を学ぼう一覧」では、3年間を通した読む活動のつながりが、生徒にとってわかりやすい。 ○他教科と関連した教材がバランスよく配列されている。また、各学年の第1単元に設定されるグループディスカッションを通して、学年当初により実践的な言語活動を行うことで、生徒が他教科での言語活動に生かせるよう工夫されている。 ○各学年の第6単元に設定される「情報を関連付ける」では、図表や文章など多様な情報を関連付けながら、現代的な諸課題について、深く考えられるよう工夫されている。 ○1年生の「学びナビ」では、小学校の学習内容を踏まえた解説が掲載されている。また、3年生では、ものの見方を広げたり、生き方を考えたりするような教材が配列されるなど、小中高の接続が配慮されている。 ○「方言と共通語」など、地域への愛着がもてるような教材が取り上げられている。また、保護者へのメッセージ等は掲載されていないが、各学年巻末の資料編では、豊富な資料や学習方法を提案するなど、家庭学習にも活用できるよう工夫されている。	○3年間を通して、各学年各単元を構成する教材や題材に連続性を持たせるとともに、学年間にも系統的な単元の構成が工夫されており、生徒の系統的・発展的な学習につながるよう工夫されている。 ○他教科と関連した教材がバランスよく配置されている。また、「学びを生かそう」では、国語科で学んだ内容や言語活動を他教科で生かす視点が示されるなど、生徒にとって使いやすいよう工夫されている。 ○巻頭の「言葉の地図」に、SDGsの視点をもった学習活動が提案されるなど、現代的な諸課題との関連が意識しやすいよう工夫されている。 ○国語科に重要な用語や思考に関する言葉をまとめた索引「学習に必要な用語」で、小学校の内容が掲載されている。また、「学びチャレンジ」では、高校の学習につながる内容が取り上げられるなど、小中高の接続が配慮されている。 ○巻末の「ふるさとを巡る」では、文学者や作品と各地域とのゆかりが紹介されている。また、裏表紙に保護者へのメッセージが掲載されるとともに、「学びナビ」等で、自分の力で取り組むための資料等が用意されるなど、家庭学習にも活用できるよう工夫されている。	○各単元の学びが他の単元に生かせるよう系統的な配列が工夫されている。また、巻末の折込資料「学習の窓」一覧では、領域ごとの学びがまとめて掲載されており、生徒の系統的・発展的な学習につながるよう工夫されている。 ○他教科と関連した教材がバランスよく配置されている。また、「情報を集めよう」「聞き上手になろう」では、他教科での言語活動等に生かせる学習活動が紹介・提案されているなど、生徒にとって使いやすいよう工夫されている。 ○SDGs、環境、情報、防災、キャリア教育等に関わる教材が適切に配置され、教科横断的に取り組めるとともに、現代的な諸課題を想起しやすいよう工夫されている。 ○1年生の初めの単元に入る前に、小学校での既習事項を確認できる教材が配置されている。また、3年生では、高校で出会うような作家、評論家の文章や古典作品が取り上げられるなど、小中高の接続が配慮されている。 ○2年生の巻末資料に、47都道府県全ての郷土ゆかりの作家や作品が紹介されている。また、裏表紙に保護者へのメッセージが掲載されるとともに、「語彙を豊かに」「学習を広げる」等で、自分の力で取り組むための資料等が用意されるなど、家庭学習にも活用できるよう工夫されている。

【選定の観点8】

表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
○全体を通して、挿し絵や写真、図やグラフなどは、文章の理解を助けるものとなっており、目的に応じて活用できるよう工夫されている。 ○カラーユニバーサルデザインに配慮されている。また、本文書体に使われている明朝体は、小学校で使われている教科書体に近づけたもので、生徒が読む文字と書く文字との違いで混乱することを避けられるよう工夫されている。 ○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。 ○再生紙や植物油インキが使用されている。	○全体を通して、挿し絵や写真、図やグラフなどは、文章の理解を助けるものとなっており、目的に応じて活用できるよう工夫されている。 ○カラーユニバーサルデザインに配慮されている。また、本文は独自の明朝体とゴシック体・教科書体で書かれるなど、見やすく読めるよう工夫されている。 ○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。 ○環境に優しい紙や植物油インキが使用されている。	○全体を通して、挿し絵や写真、図やグラフなどは、文章の理解を助けるものとなっており、目的に応じて活用できるよう工夫されている。 ○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントなどに配慮されている。また、学年の発達段階に応じて文字の大きさを変えており、生徒の発達段階に配慮されている。 ○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。 ○環境に優しい再生紙や植物油インキが使用されている。	○全体を通して、挿し絵や写真、図やグラフなどは、文章の理解を助けるものとなっており、目的に応じて活用できるよう工夫されている。 ○カラーユニバーサルデザインに配慮されている。また、本文は教科書のためにデザインした独自の「光村明朝体」で書かれており、小さな文字はUDフォントを用いるなど、自然で見やすく、字詰め、行詰めも読みやすい。 ○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。 ○環境に配慮した紙や植物油インキが使用されている。